

## 平成 27 年度 社会福祉法人 誠真会 事業報告

今年度、訪問介護事業の法人移行と居宅介護支援事業所の移転統合を行い事業の効率化を進め、また前年度から稼働率が低下傾向であったグループホームの入居者確保に向け各関係機関への営業に努めました。しかし、市内に介護保険施設の新設もあり、新たな入居者の確保に苦戦を強いられ、期中から期末にかけて退所者が重なり、入居率は 80%と前年度と同様の水準となり、また各経費について削減に努めましたが、入居者減少の影響を大きく受け、今年度も非常に厳しい施設運営となりました。今後、団塊の世代による高齢者人口のピークに向け、株式会社など様々な経営主体による新規参入の事業者も多く、また人手不足についても労働力人口の減少もあり、更に悪化し継続すると予想され、この市場のお客様と人材の争奪戦は激化しております。

この厳しい状況の中、入居者の確保に向け現状のサービスを見直し、まずはグループホームの環境整備として、照明をすべて LED 化し室内の明るさの確保と消費電力の削減を行いました。また入居者の ADL 低下による重度化に対応するべく、入浴時の安全性の確保と介護負担軽減の為に 3 ユニットで使用できるように携帯用の電動リフトの導入を試みました。しかし、浴槽の規格と合わず大規模な改修が必要となることから来年度も継続して検討いたします。また入居者の健康管理については、隣接する長島中央病院と連携をしておりましたが、この度、佐藤医院が在宅療養支援診療所となり佐藤医院と連携を図り、急変時にも対応できるよう 24 時間医師が往診できる体制を確立し、また入居者様の定期的な健康状態の把握により、早期発見、早期対応が可能となり入居者様の安心と安全の為に医療連携の強化を図っております。

また、人材確保対策として「女性が働きやすい環境」を目指し、他法人と共同利用しております事業所内保育園を夜勤と勤務外にも利用できるよう利用時間を拡大し、孫や就学児童の夏季休暇時等の利用も可能とし、母親のみならず父親も祖母も安心して就労できるように充実を図りました。また育児短時間勤務、看護休暇、時短単位年休などの制度も取入れ、そして、職員の資質と技術の向上に向け、キャリアアップ支援として資格取得への助成制度の検討を行い、来年度より施行する予定となっております。また労働環境としては、夜残業ゼロとして終業時間の帰宅を促し、有給休暇の消化率も約 9 割とし労働環境の改善に取り組んでおります。

今後の施設運営も非常に厳しい状況ですが、入居者の確保に努め運営の健全化を図り、入居者様により良い生活を送っていただくため施設サービスの改善に努めて参ります。